



# 共 育

校長室のすぐ前の椿の木に真っ赤な花が咲きました。いよいよ春が近づいてきているようです。

2月16日には授業参観、PTA総会と同時に教育活性化事業報告会がありました。今年度、瑞穂小学校で取り組んできた教育活動を「知・徳・体・連携、育成」の括りでご報告いたしました。校長室だよりでも5月～9月号で本校の取組の概要を掲載してきたところですが、今回はその総括をご紹介します。

## <知・学力向上について>

○は成果、●は課題を示す



- 毎朝全校で行った百マス計算や視写の取組、授業の中で書く力の育成を目指した振り返りグランプリの取組が、授業で学んだことを活かす時に役立った。
- 学習の定着を図るため「活かす場面」を授業の中に位置づけることで、児童自身が学んだことや経験したことを学習に活かそうとする姿勢が見られるようになった。
- 学び合い活動における必要感についての研究は進んだが、「活かす場面」で、児童が必要感を持って学習に臨めるように、さらに工夫改善していく必要がある。

## <徳・こころの育成について>



- 児童が主体となったあいさつ運動（あいさつ列車、あいさつスタンプ）を企画し、実行できた。
- 図書ボランティア（ぼちぼちいこかさん）の読み聞かせを計画的に全学年で行うことができた。
- 毎日「ほっとタイム」で友達の良さや異学年との良い関わりについて紹介し、共感的

な人間関係を築くことができた。

- 貢献する心を育むあいさつ運動について、参加する児童の固定化が課題である。全校児童が主体的に参加するよう働きかけを工夫する必要がある。

### <体・体づくりについて>



- 毎月の体力アップ週間（サーキット7・チャレンジマラソン・なわとび等）で縦割り班毎に運動に取り組み、成果を目で見て分かる形で示すことで、主体的に体力アップを図れた。（児童アンケート「楽しい98%」「体力向上に活かされそう100%」）
- ゲームの時間を守ることや土日の家庭学習を生活チェックに取り入れ、児童・家庭と共通理解を図りながら生活習慣の向上に取り組んだ。
- 更なる体力向上と児童の意欲向上を図るために、縦割り班での運動に変化をつけたりバリエーションを広げたりする工夫が必要である。

### <小中との連携・人材育成について>



- 保育園との交流を2回（1・5年）、情報交換を5回実施した。また、羽咋中の授業参観や研修会には3回参加した。羽中生が頑張る姿を写真で全校に紹介したりして、憧れや期待を膨らませた。市内の2小学校のあいさつの取組も、全校で紹介することができた。
- 校区の小学校でそろえて取り組むことを共通理解し、中学校への円滑な接続を図る。
- 教師が授業を見せ合うことを、2学期末までに一人平均16.3回行った。参観回数は前年度比約1.6倍に増えた。授業者と参観者が事後に速やかに協議の場を設けることで、教師の授業力の向上に活かすことができた。
- 職場で、教師が一人1回以上講師となり、「学校研究」「喫緊の課題」「研修の還流」や「得意分野」などのテーマについて研修することができた。



本校の教育スローガン「よく考え 進んで取り組み すなおに表現する子」の育成を目指し、取り組んできました。様々な活動を通して児童の成長が見られたことが何よりだったと思います。来年度、本校では、人権教育にも取り組んでいくこととなりました。現在行っている活動を人権教育の視点で見つめ直し、さらに児童一人一人の成長に資するよう努めて参りますのでご協力をよろしくお願い致します。